



2019年5月10日

各 位

会社名 名古屋電機工業株式会社
代表者名 代表取締役社長 服部 高明
(コード番号 6797 名証第二部)
問合せ先 取締役 中村 昭秀
(TEL. 052-443-1111)

2019年3月期通期業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ

2019年2月5日に公表いたしました2019年3月期通期連結業績予想値と本日公表の実績値及び、2018年5月11日に公表いたしました2019年3月期通期個別業績予想値と実績値との間に差異が生じたのでお知らせいたします。

記

1. 2019年3月期通期連結業績予想値と実績値の差異 (2018年4月1日～2019年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 19,000	百万円 950	百万円 990	百万円 1,000	円 銭 165.75
実績値(B)	19,363	1,432	1,479	1,402	235.02
増減額(B-A)	363	482	489	402	—
増減率(%)	1.9	50.8	49.5	40.3	—
(ご参考) 前期実績 (2018年3月期)	—	—	—	—	—

(注) 2019年3月期連結会計年度より連結財務諸表を作成しているため、2018年3月期の数値については記載しておりません。

2. 2019年3月期通期個別業績予想値と実績値の差異 (2018年4月1日～2019年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 17,300	百万円 600	百万円 630	百万円 680	円 銭 106.85
実績値(B)	19,116	1,385	1,467	1,414	236.99
増減額(B-A)	1,816	785	837	734	—
増減率(%)	10.5	131.0	133.0	108.0	—
(ご参考) 前期実績 (2018年3月期)	17,529	876	923	980	154.06

3. 差異の理由

(1) 連結業績

情報装置事業におきまして、大型案件の工事費が削減できたことや道路情報板を制御するソフトウェアのコストダウンに努めたことなどにより採算性が改善しました。

以上の理由により、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益は前回発表予想を上回りました。

(2) 個別業績

情報装置事業におきまして、仕様変更による契約金額の増額、大型案件の工事費が削減及び道路情報板を制御するソフトウェアのコストダウンに努めたことなどにより採算性が改善しました。

以上の理由により、売上高、営業利益、経常利益、当期純利益は前回発表予想を上回りました。

以上